

2018年度森林公園だより No.22 2018年10月4日

先週に引き続き台風の影響が心配されます。特に風が強い日は無理をしないようにしてください。緑の中に黄色や赤色が目立ち始めました。

クリはあまり見られなくなり、コナラ、クヌギなどのドングリ、スタジイも見られます。

マツヨイグサ、アキノノゲシなどのほか、ゲンノショウコの花も見られます。

今後、紅葉を見るのに良いのは、緑化の広場、インフォメーションセンター周辺などです。

10月14日(日) まこもやり投げ大会(募集期間中です)

10月28日(日) 森林セラピーアクト焼き芋体験1(募集期間中です)

園内ではドングリなどを拾うお客様が多くいらっしゃいます。道具などを使うと木が痛みますから、地面に落ちたものだけを拾ってください。また、特定の方が独り占めするようなことのないように、節度をお守りください。よろしくお願いします。

緑化の広場



アキノノゲシ



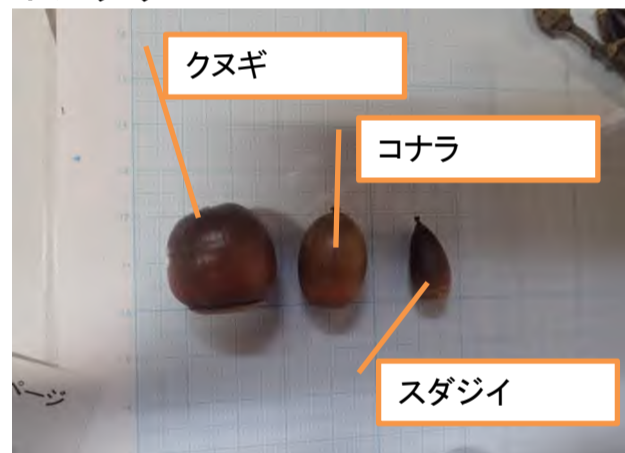
ゲンノショウコ



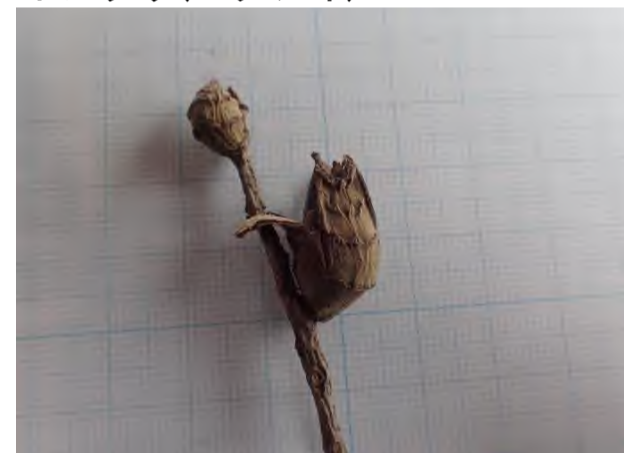
ドングリ(クヌギ)



ドングリ



ドングリ(スタジイ)



ドングリ(クヌギ)拡大写真



カエル



森林セラピー実施風景



一口メモ

ドングリとは、ブナ科の果実の総称で、かたい殻をもち、中身にはたくさんのデンプンを含んでいます。そのため、多くの動物たちの食料になっています。

ドングリ(クヌギ)の拡大写真の中ほどに小さい穴が開いていますが、これは昆虫が産卵した跡です。

よく、持って帰ったドングリを箱などに入れておいたら、ウジムシみたいなのが発生した！などのお声を頂きますがおそらく、このドングリもしばらく置いておくと、虫が出てきます。

この虫はサナギになるために出てくるようです。

昔はこの虫を使い魚釣りなどをしていました。こういう知識はおそらく今後は活かされる場面がすくなくなるでしょう。